

春日部市の給与・定員管理等について

1 総括

(1) 人件費の状況(普通会計決算)

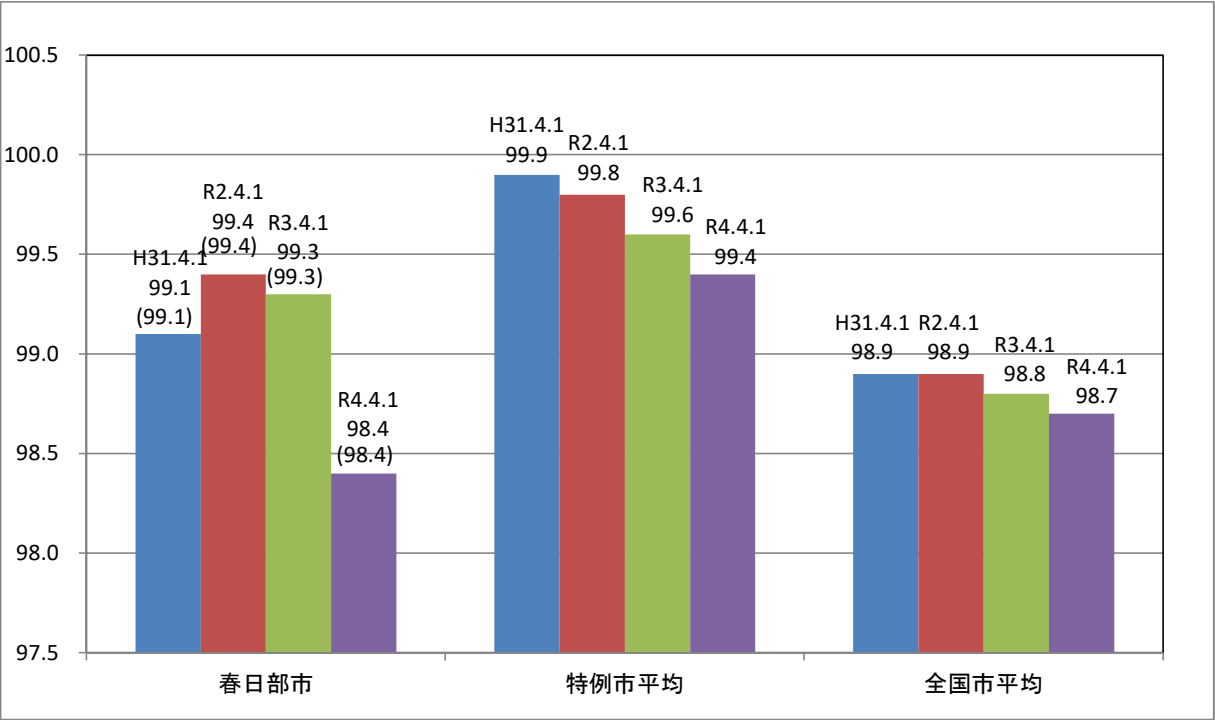
区 分	住民基本台帳人口 (令和4年1月1日)	歳 出 額 A	実質収支	人 件 費 B	人件費率 B/A	(参考) 令和2年度の人件費率
令和 3年度	人 232,864	千円 84,433,713	千円 4,962,529	千円 11,692,164	% 13.8	% 11.6

(2) 職員給与費の状況(普通会計決算)

区 分	職員数 A	給 与 費				一人当たり給与費	(参考) 特例市平均 一人当たり給与費
		給 料	職員手当	期末・勤勉手当	計 B	B/A	
令和 3年度	人 1,308	千円 4,811,107	千円 1,148,084	千円 1,921,174	千円 7,880,365	千円 6,025	千円 6,357

- (注) 1 職員手当には退職手当を含みません。
2 職員数は、令和3年4月1日現在の人数です。また、任期付短時間勤務職員(再任用職員(短時間勤務))及び会計年度任用職員を含みません。
3 給与費については、任期付短時間勤務職員(再任用職員(短時間勤務))の給与費が含まれており、会計年度任用職員の給与費は含みません。

(3) ラスパイレス指数の状況



- (注) 1 ラスパイレス指数とは、全地方公共団体の一般行政職の給料月額を同一の基準で比較するため、国の職員数(構成)を用いて、学歴や経験年数の差による影響を補正し、国の行政職俸給表(一)適用職員の俸給月額を100として計算した指数です。
2 ()書きの数值は、地域手当補正後ラスパイレス指数を指す。地域手当補正後ラスパイレス指数とは、地域手当を加味した地域における国家公務員と地方公務員の給与水準を比較するため、地域手当の支給率を用いて補正したラスパイレス指数。
(補正前のラスパイレス指数×(1+当該団体の地域手当支給率)÷(1+国の指定基準に基づく地域手当支給率)により算出。)

(4)給与制度の総合的見直しの実施状況について

【概要】国の給与制度の総合的見直しにおいては、俸給表の水準の平均2%の引下げ及び地域手当の支給割合の見直し等に取り組むとされています。

- ①給料表の見直し
〔実施 未実施 〕
実施内容

(給料表の改定実施時期)
平成27年4月1日
(内容)
一般行政職の給料表について、国の見直し内容を踏まえ、平均2.0%(最大で4.8%)引下げました。また、激変緩和のため、3年間(平成30年3月31日まで)の経過措置(現給保障)を実施しました。
他の給料表については、一般行政職給料表との均衡を踏まえて見直しを実施しました。

- ②地域手当の見直し
実施内容

(支給割合)
国基準6%に対し、春日部市においても6%を支給。
(実施時期)
平成27年4月1日より実施。段階的に支給割合を上げることとし、平成27年4月1日時点では4%、給与改定後は平成27年4月に遡及し5%を支給、平成28年4月1日時点から6%を支給。
(参考)

	平成26年度 の支給 割合	平成27年度 の支給割合		平成28年度 の支給 割合	平成29年度 の支給 割合	平成30年度 の支給 割合	令和元年度 の支給 割合	令和2年度 の支給 割合	令和3年度 の支給 割合	令和4年度 の支給 割合
		4月1日 時点	遡及 改定後							
国基準による支給割合	3%	4%	5%	6%	6%	6%	6%	6%	6%	6%
春日部市の支給割合	3%	4%	5%	6%	6%	6%	6%	6%	6%	6%

- ③その他の見直し内容

管理職員特別勤務手当及び単身赴任手当について、国と同様に見直しを実施しました。(平成27年4月1日実施)